

私は、平成26年に脳出血を患い、現在もリハビリ中の身ですが、病を得てから今日に至るまで、様々な思いや身体的障害と葛藤してまいりました。苦しく悩ましいこともあった反面、健康な頃には知りえなかった気つきや、「こんな社会資源やサービスが利用できるんだ」という、「お得な情報」のようなものにも巡り合ったりしました。このような「財産」を、少しでも多くの方に知つていただるために、何とかフリーペーパーのやうな形で世に出すことはできないものかと想つて、いた矢先、縁あって、やがて脳ネットの『県民フリーラム』に出演する」となり、その事業の一環としてフリーペーパーを出してみてはどうかという提案を主催者から受けました。そこで、準備期間は短いですが、まずは、JRの『県民フリーラム』の情報を軸に、脳卒中治療の概要を市民の皆さんに知つていただきための紙面を作成してみるとこととし、名称も『MONONONE Times』としてみました。リハビリと同様「何事も始めなければ始まらない」と、そんな気持ちで、まず始めてみて、刊

『もも脳ネット』の成り立ちと
脳卒中治療 国立病院機構
岡山市立金川病院 院長 大森 信彦

高齢化社会の到来に伴つて、大脳骨頭部骨折や
脳卒中といった長期の療養・リハビリ・在宅介護
を要する病気や罹患した患者さんの数は増加の一
途をたどりています。我が国の国民皆保険制度は
世界に誇れるものですが、反面、国の社会保障予
算額は40兆円を超える増加の途をたどり、今ま
までは将来パンクするのも確かです。質を担保
しながら医療費をスリム化するには、地域の医療
資源が無駄なく有機的に連携する地域ぐるみの
体制を整えていくことが最低限必要だといえま
す。このよつた社会情勢の中であつて、平成18
年に、後述する急性期病院・回復期リハビリテー
ション病院・維持期病院の切れ目のない連携を促
りをしていただきたいと考えていますので、どうぞ、お
力添えのほど、お願ひ申し上げます。

病院機能と医療の流れ

命を救う医療

支える医療

寄り添う医療

高度急性期
急性期ケア
通常一週間以内で行なわれる急性期疾患治療

地域包括ケア
回復期ケア
急性期疾患による機能低下の回復目的

慢性的疾患・介護保険施設
在宅ケアでの機能の向上と維持

急性期医療

慢性期医療

急性期医療連携バス

慢性期医療連携バス
退院時共同指導

地元医療を支えるために

- ・ステージに応じたケアを提供する！
- ・地域における施設間・看護間で連携を強化！
- ・チーム医療の一員として、専門職としての役割を果たす！

山医療センターの整形外科医師の呼びかけで、大腿骨頸部骨折に関する連携病院の情報交換会が立ち上がり、「もも（腿）ネット」の名称で運営が開始されたことが、「もも脳ネット」のはじまりです。平成20年の診療報酬改定で、脳卒中にも地域連携バスが適用されることとなつたことを受け、備前保健所の支援を受けて、岡山県南東部医療圏全域（岡山市を中心とした人口約90万人の行政圏）にわたる、脳神経系の専門病院も加わった「もも脳ネット」として、新たなスタートを切りました。平成22年からは「在宅グループ」といっ、在宅医療連携に関わる開業医、ケアマネジャー、訪問看護の日々の検討会もスタートし、平成23年には「在宅パス」の開発と運用開始に漕ぎ着けました。現在では、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、リハビリテーション療法士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネジャーなど、88施設総勢400名を超える多職種が「顔の見える関係」を構築しつつあり、備前保健所との共同企画による「県民フォーラム」の開催など、般住民への啓蒙活動にも取り組み、ますます、活動の幅が広がっています。

第一回目の本稿では、脳卒中治療とそれにかかる専門職について紹介します。

もも脳不ツ
通信

Vol.1 創刊号

卷之三

Momo No Net Times



平成28年1月23日(土)10:00~15:30おかやま未来ホール(イオンモール岡山5F)

メインホール(講演)プログラム

14 10	休憩	リフレッシュエクササイズ	（岡山旭東病院スタッフ）
13 00	開会の辞	佐藤 利雄	（岡山医療センター 院長）
	挨拶	阿部 康一	（岡山大学脳神経内科学 教授）
		小寺 良成	（岡山健前保健所 所長）
13 10	第1部 「愛する家族との成長口記」 「脳卒中..失つものあれど、得られるものもあり~ 講演	藤野 邦博さん夫妻 コートainer・野間 博光	（岡山旭東病院ヘパリテーション課）
14 10	休憩	サポート・済生会吉備病院スタッフ	

国立病院機構岡山医療センター、済生会吉備病院、国立病院機構岡山市立金川病院の3病院が当番幹事となって開催されます。今回は、働き盛りを突然襲った脳卒中をテーマに、「ひと事ではない! 病気と介護を知ろう、考え方よつーあなたに訪れる突然の危機、脳卒中・骨折」と題して、病気とは無縁だと思つてしまいがちな若じ方々にも、「じぶんご」として病気に関心を持つつていただけたらとう願いを込めて企画しています。第一部、第二部と2部構成になつていますが、それぞれに、脳卒中を経験されたご夫婦に登場いただき、実体験を話していくだけ予定です。奮ってご参加ください。

15
..
30 閉会の辞 坪井 雅弘

特設会場(ワース)10:00~15:30
メインホールの外では、来場された方々に楽し
みながり健康についての知識を得ていただけるよ
うなブースを開設いたします。骨・血管・肌年齢手
エラック・介護体験、お口の健康チェック・介護情報の
提供などを実施。ワンポイントトドグバイスも受け
られます。イオントールに腫瘍物がくわ、気管にお
立ち寄りください。

*知り=自分の体=骨☆血管☆肌年齢check!!

*快適な「生活」を支援します。

*正しく介助方法と優れた福祉機器へ

*歯も・飲み込む・磨く

～あなたが出来て食べ・寝て～

*知り=セシス、あなたを44歳の誕生日のカーブス

平成27年度 もも脳ネット県民フォーラム開催!!

